

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

病院長名	大原 弘隆
所在地	〒462-8508 愛知県名古屋市北区平手町1丁目1番地の1
交通案内	名古屋市営地下鉄「黒川」、「名城公園」又は「庄内通」駅より徒歩20分 名古屋市営バス 栄11・名駅13他「西部医療センター」下車すぐ（時間帯によって「志賀公園前」下車徒歩2分）



□ 主な連携施設

- つむぎファミリークリニック
- マイファミリークリニック蒲郡
- 名古屋市立大学病院
- 愛知医療センター名古屋第二病院
- 国民健康保険上矢作病院
- 愛知県農業協同組合連合会足助病院
- 尾鷲総合病院

□ メッセージ

指導医：菊地 基雄（総合内科部長）

2018年4月からの総合診療専門研修プログラムは、今までの後期研修システムにはなかった全く新しい制度で、地域医療を担う総合診療医を育成するというものです。従前、地域医療を担うクリニックの先生方は消化器、循環器、小児科など病院の特定領域の専門医として研鑽を積んだ後、地域医療の場に進んでいました。領域以外分野は実地修練することなく、見聞き講習を受けたりして対応されていました。この新しい研修制度は、私共の内科(12か月)、小児科(3か月)、救急医療(3か月)、総合地域医療(18か月)を中心として、整形外科、眼科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科といった地域医療で触れるプライマリケアを合計3ないし4年間みっちり実地修練するというものです。多臓器に疾病のある患者さんをたらい回しにすることなく、効率よく診療できることを想定しています。



今後はこの研修コースを修了していないと、地域の「総合診療専門医」は標榜できなくなる予定で「領域専門医」を標榜するか、「総合診療専門医」を標榜するかの分かれ道です。但し2階部分の専門医資格を取得するためには、「総合診療専門医」を修了したのち、臓器別研修を修了する必要があります。新しい医療価値の創造と、更なる向上のため、私達と共に頑張りませんか。

□ 募集要項

・採用予定人数	2人
・給与/月額	548,000円
・当直回数/月	3回程度
・当直料/回	二次救急当直 33,000円（日直 31,000円、翌日が休日の場合 52,000円）
・応募連絡先	担当者 病院管理部管理課庶務係 電話番号 052-991-8121 Eメール a9918121@sec.nagoya-cu.ac.jp

□ 病院の特徴

西部医療センターは、地域の中核病院として親しまれてきた城北病院と城西病院を前身とします。2011年にクオリティライフ21城北内の現所在地に新築移転し、両院を統合した名古屋市立西部医療センターとして運営を開始。以来、小児・周産期医療、がん医療、脊椎医療、救急医療の拡充に取り組んできました。2013年2月には名古屋陽子線治療センターを開設し、東海3県で初めてとなる陽子線がん治療をスタート。また同年9月には地域医療支援病院の承認を受け、2019年4月には地域がん診療連携拠点病院に指定されました。2021年4月より名古屋市立大学医学部の附属病院となり、名古屋市立大学医学部附属西部医療センターに改称しました。病床数は一般病床500床で、診療科数も33診療科を標榜しており、ほとんどの疾患に対応できる研修体制を整えています。

□ 研修プログラムの特徴

【目標】

日常遭遇する疾病と障害等に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看取りなど保健・医療・介護・福祉活動に取り組み、絶えざる自己研鑽を重ねながら、地域で生活する人々の命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応する総合診療専門医になる。

【研修期間】

3年

【研修スケジュール例】

専攻1年	当院、名古屋第二赤十字病院又は尾鷲総合病院・内科（12か月）
専攻2年	当院・小児科（3か月）
	名市大東部医療センター・救急科（3か月）
	つむぎファミリークリニック、マイファミリークリニック蒲郡又は上矢作病院・総合診療研修Ⅰ（6か月）
専攻3年	足助病院又は名古屋市立大学病院・総合診療研修Ⅱ（12か月）

救急症例検討会の様子

